



FIWA 代表理事から コロナで思う二つのこと

寄稿：FIWA 代表理事・副理事長、原田 武嗣

第一話 コロナとともに 変わらない大切なこと

コロナ前、コロナ後、コロナとともに、まずコロナのことから話すのが挨拶がわりになってしまいましたね。皆さまいかがお過ごしでしょうか？コロナ感染の緊急事態宣言が解除、営業自粛要請も徐々に解除され、街には人が戻りつつあり、職場に復帰される方も増えてきました。でも、第2波のリスクも懸念されており、気を抜けませんね。



コロナウイルスの世界的感染爆発の兆しが見え始めた今年2月以降、リーマンショック並みあるいはそれを上回る景気後退が世界を襲うことが懸念され、内外の株式相場が急落する中、3月の国内ネット証券の新規口座開設数が急増したことが報道されていました。特にいわゆる老後資金「2000万円問題」をきっかけに投資を始める時期を探っていた株式投資初心者の口座開設が増えたということですね。

その後、景気後退はこれから深刻化が予想されるというのに、日本を含む世界の株式相場は3月下旬以降短期間で急回復し、高値からの半値戻し、あるいは3分の2戻しを達成しました。老後資金の確保という長期目的で投資を始めた人であっても、この時期株式投資を始めた人は短期的投資成果に変な？自信を深めているのではないのでしょうか。一方、同じ老後資金確保のため、投資時期を探っていたが、相場の急落、急回復について行けず、この水準での投資に二の足を踏んでいる方もいるでしょう。

しかし、投資のスタートが上手くいった人、上手くいかなかった人というのも結果論としてそうだったと考えるほうがよいでしょう。コロナ前、コロナ後、コロナとともに、いずれであっても、老後資金の確保を目指す投資の王道は、長期、分散、継続、そして低コスト投資であることを肝に命じましょう。





長期投資仲間通信「インベストラ이프」

はじめての投資で目先の成果を上げた場合、落ち入り安い罠は、自信過剰になること、その結果、「もっと儲からないか」と欲張りすぎてしまうことです。このような罠に陥ってしまった場合のリスクは、(1)もっと儲かる良い？投資商品はないかと、自分の理解できない複雑な商品に手を出してしまうことです。中には、先物・オプション取引などを始めてしまう人もいられるかもしれません。さらに、(2)投資詐欺あるいは詐欺師まがいの投資商法に引っかかってしまうリスクも大きくなります。

しかし、

(1)の複雑な商品は、複雑さに隠れてコストが高いことが多く、世界的な景気の深刻な後退で、実態経済や金融市場が大きなダメージを受ける場合は、リーマンショックの時の証券化商品のよう市場流動性が枯渇したり、換金が出来なくなったり、信用リスクが急拡大して、投資価値が急減するリスクもあり注意が必要です。自分の理解できるシンプルな商品がベストです。

(2)の投資詐欺に引っ掛からないためには、儲け話に乗らないことです。でも、預金に置いていても実質ゼロ金利ですから、少しでも利回りが良いと聞くと心が動かされるのが人情でしょう。そこで、誰でもできる簡単な投資詐欺防止法があります。

- ① 自分の理解できない複雑な金融商品に手を出さない(解約可能性、解約手数料も注意)
- ② 「絶対儲かる」や、高利回りを確約する話に乗らない(高利回りと安全・絶対は矛盾する)
- ③ Eメールの勧誘、ネット詐欺に注意する

この三つで全ての投資詐欺が防げるわけではありませんが、大抵のいかがわしい投資詐欺は防げるでしょう。うまい話は無いのです。そんなに良い金融商品だったらそもそも商品の組成者、売り手自身を買ってしまうのですから。

一方、相場の急変動について行けず、今後の実態経済の悪化を心配してなかなか投資を始められない人もいますね。結果論としては、相場が再度調整してからスタートすればよかったということはありませんが、投資をスタートする時期を当てることは至難の技です。投資にリスクはつきものですが、リスクを平準化する老後資金の確保を目指す長期資産形成の王道は、長期、分散、継続そして低コスト投資であることで変わりません。



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

第二話 コロナとともに生きる時代・信頼できるプロのアドバイザーへの期待

新型コロナウイルス感染が世界的広がり、尊い多くの人の命が失われました。そんな中、2018年1月4日、27歳という若さでガンで亡くなったオーストリア女性、ホーリーが死の直前に書いた手紙「ホーリーからの人生のちょっとしたアドバイス(A bit of life advice from Hol)」がご遺族によりFacebookで公開され話題になっているそうです。

その内容は、若いながらも死と向き合う恐怖、まだ死にたくないという想い、人々に後悔のない人生を送ってほしいという願いがこもったものです。この手紙を読んで強く感動し、多くの方々にシェアしたいと思いましたが長文のためここで全文(注)をシェアすることはとてもできません。これはその中で、私が強く心を動かされた言葉のいくつかです。

ホーリーは言います。

- 「人生は、壊れやすく、貴重で、予想できないものです。毎日生きることは、与えられた権利ではなく贈り物です。」
- 「最後にはみんな同じ運命が待っているということを忘れないでください。あなたの時間を、価値のある素晴らしいと感じることに使って欲しいのです。」
- 「お互いもっと助け合いましょう。与えて、与えて、与えるのです。他者に与えることで得られる幸せは、自分に与えることで得られる幸せと比べてなんと大きな大きいことか。」
- 「この地球であとどれくらい生きられるか分からないのだから人生の意味のないストレスに時間を無駄にしてはいけません。」

ホーリーの言葉は、コロナとともに生きる時代にあって、人は誰でも生きている以上死ぬのだというごく当たり前のことを、そして今という時間を価値ある素晴らしいことに使うことの大切さを改めて多くの人に気づかせてくれるでしょう。

コロナ前であっても、年齢を重ねてくると、いつか死ぬということは当然のように意識されるのですが、20代、30代の若さでは死は現実味を持って意識されてこなかったと思います。いつかは死ぬものだ意識した時、それも死は突然不条理にも訪れるとわかった時、人はどのように変わるでしょう？もっと今のこの時間を大切に使う。価値のある素晴らしいと思えることに今の時間をもっと使いたいと思うでしょう。

その意味で、コロナとともに生きる時代では、生活者が経済的束縛から解放され豊かで幸せな実現できる基盤を整えることがますます必要となっています。人生100年時代と言われる今日、生活者が人生を通じてのお金の付き合い方の知識を持ち、自ら合理的効果的な資産運用を実行できることがより強く求められていることは明らかです。



長期投資仲間通信「インベストライフ」

しかし、資産運用の自称専門家の多くが本来の運用/アドバイス報酬のほかに金融機関から直接あるいは間接的に追加的な報酬を徴収している現在の状況は簡単には変わりません。だからこそ、コロナとともに生きる時代では、生活者を適切にサポートできる信頼できるプロのアドバイザーがますます求められるのです。生活者のためのライフプラン、金銭、投資、資産運用等に関するアドバイスが完全に利益相反ない形で行われるための粘り強い取り組みが必要です。

FIWA の理念に基づき「お客様ファースト、自分ラスト」で行動するお金のアドバイザー(FIWA 認定アドバイザー)への期待は、このような時代にあつてますます高まっていくでしょう。問題意識、志を共有できるアドバイザーのみなさん、是非 FIWA のお仲間に加わってください。

(注)「ホーリーからの人生のちょっとしたアドバイス(A bit of life advice from Hol)」の全文(英語)は https://wikitia.com/wiki/Holly_Butcher に紹介されています。